

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代女性)ありました。症状はありません。感染地域、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は7例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(60歳代及び80歳代男性各1例)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は以前からの保菌です。本年の累積報告数は18例となりました。
- 梅毒の報告が3例(20歳代及び50歳代男性各1例、30歳代女性1例)(第21週追加報告分含む)ありました。いずれも感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は29例となりました。
- 百日咳の報告が5例(10歳未満男性3例、10歳代男性及び40歳代女性各1例)(第21週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は39例となりました。

◆ 今週のトピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は1.95(84例)となり、過去5年平均値を上回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 7例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 128例(肺結核 53例, その他結核 31例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 27例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 18例】
- 五類: 梅毒 3例【1月以降の累積報告数 29例】
- 五類: 百日咳 5例【1月以降の累積報告数 39例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 29	89
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6. 42	276
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2. 26	97
	③ 手足口病	1. 95	84
	④ 伝染性紅斑	1. 19	51
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 49	21
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

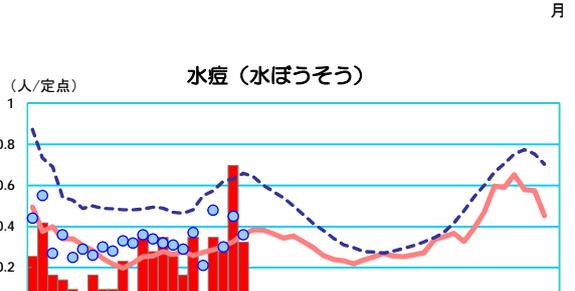
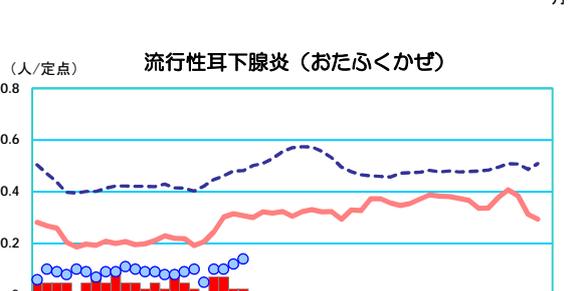
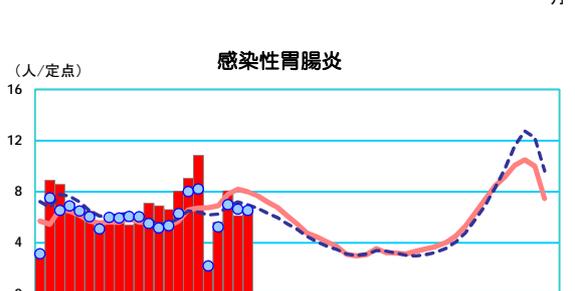
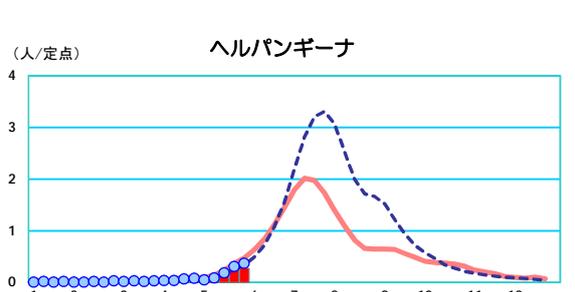
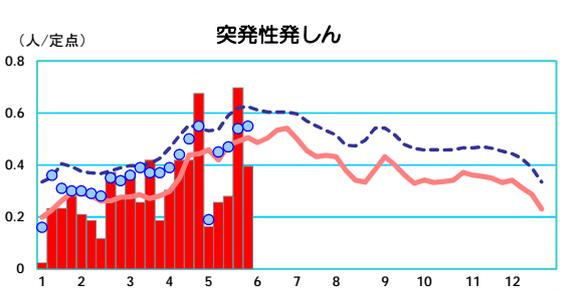
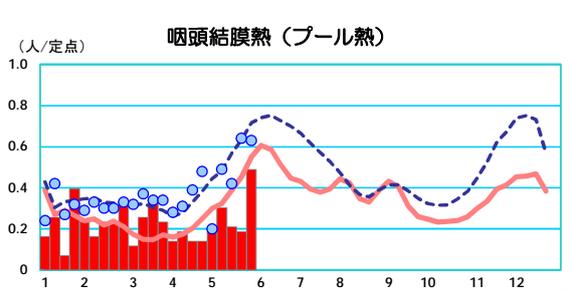
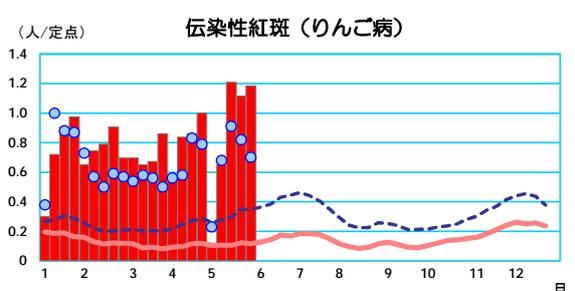
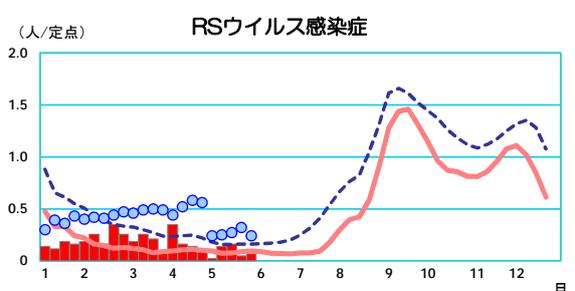
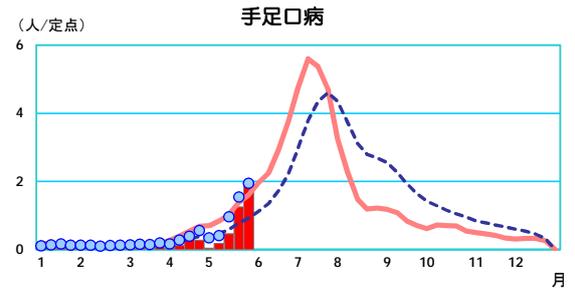
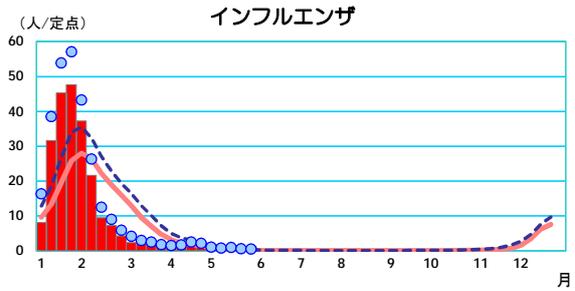
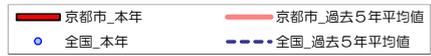
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年6月5日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第22週(5月27日～6月2日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は1.95(84例)となり、過去5年平均値を上回りました。全国でも第20週以降、過去5年平均値を超えています(図1)。

手足口病の2011年以降の本市発生動向を見ると、隔年で警報開始基準値「5」を超えており、本年は流行年に当たると推測されます(図2)。

都道府県別の報告数を見ると、西日本に多く、とりわけ九州地方では、長崎県を除く6県で警報開始基準値を超えています。近畿でも大阪府で警報開始基準値に迫っているのをはじめ、徐々に報告数が増えています(図3)。過去の推移状況を見ると1、2週間で一気に報告数が増加する傾向が見られますので、7月から8月にかけての流行のピークを控え今後の動向に注意が必要です。

手足口病は、ウイルス感染によって起こる感染症で、乳幼児を中心に主に夏に流行します。京都市でも例年、報告数の8割以上を0～2歳児が占めています。感染経路は主に飛沫、接触及びふん口感染の3つがあり、その上に原因となるウイルスが数種類あるため何度も罹患する可能性があります。症状は感染してから3～5日後に口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。また、発熱がみられることもありますが、37度～38度と軽度です。

予防方法としては手洗いをすること、排泄物を適切に処理することが大切です。保育施設等では感染を広げないために、職員と乳幼児がしっかりと手洗いをすることが重要です。

京都市では「手足口病」について、リーフレットでも詳しく紹介しています。下記のURLを御参照ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/teashikutibyyou.pdf>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

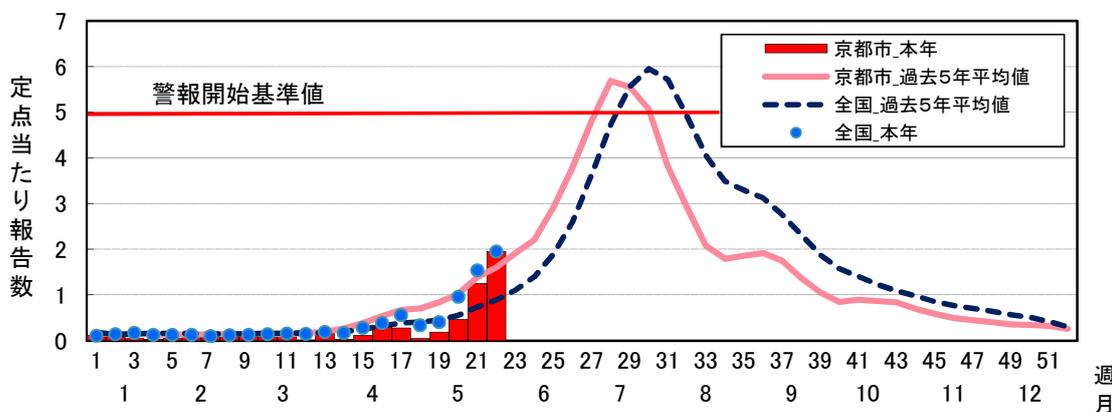


図2 京都市の2011年から2019年第22週の定点あたり報告数の推移

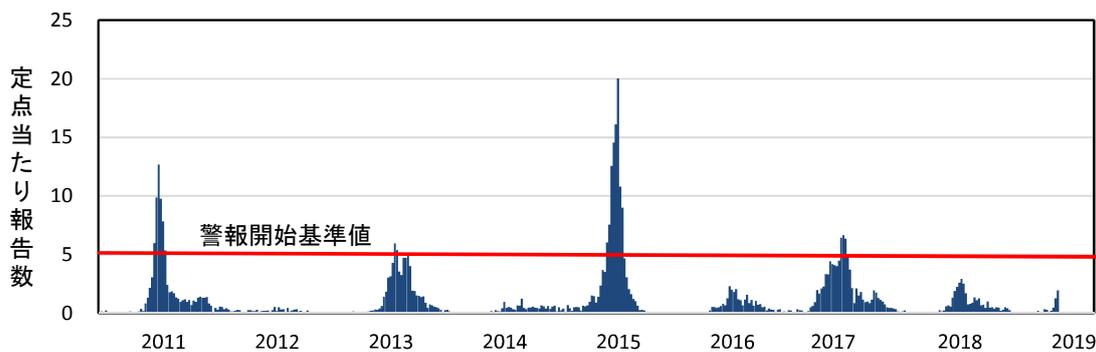
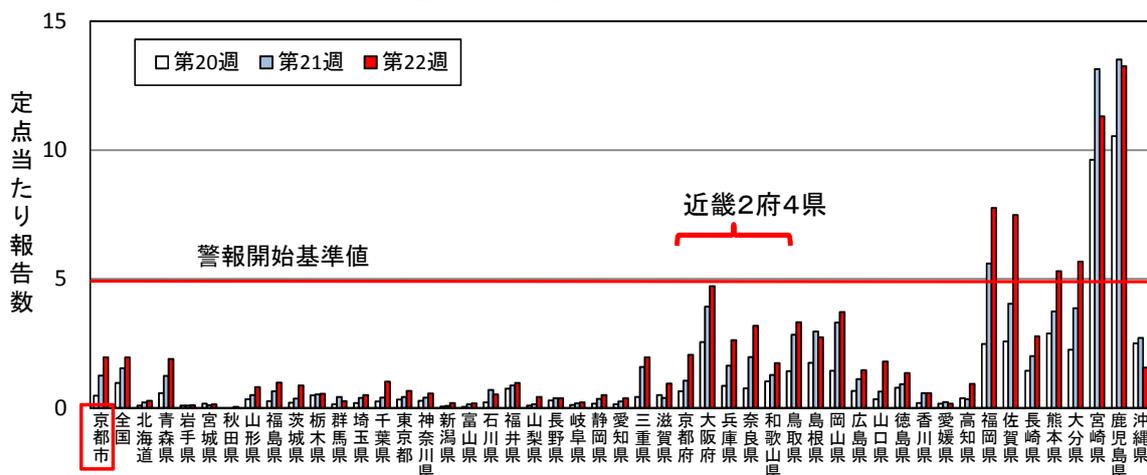


図3 都道府県別の定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第22週

疾病,行政区別報告数

2019年5月27日～2019年6月2日

データ入手日:2019年6月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1	-	1	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-						
上京	-	-	-	13	14	-	-	-	-	1	-	-	-						
左京	2	-	1	5	44	1	10	13	1	-	-	-	1						
中京	-	1	-	9	12	1	3	5	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	1	-	13	2	-	-	-	1	-	-								
山科	35	-	12	1	11	-	1	1	1	1	-	-	1						
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-								
南	7	-	-	5	10	1	7	8	-	1	-								
右京	14	-	6	26	50	3	17	9	3	1	-	-	2						
伏見	6	1	1	21	99	7	38	12	7	1	-	-	1						
西京	23	-	-	4	25	1	7	3	-	-	1	-	-						
京都市計	89	3	21	97	276	14	84	51	17	12	1	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.14	-	0.25	-	2.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
上京	-	-	-	4.33	4.67	-	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	0.29	-	0.25	1.25	11.00	0.25	2.50	3.25	0.25	-	-	-	1.00						
中京	-	0.33	-	3.00	4.00	0.33	1.00	1.67	0.67	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	0.50	-	6.50	1.00	-	-	-	0.50	-	-								
山科	5.00	-	2.40	0.20	2.20	-	0.20	0.20	0.20	0.20	-	-	1.00						
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	0.50	-								
南	1.40	-	-	1.67	3.33	0.33	2.33	2.67	-	0.33	-								
右京	1.75	-	1.20	5.20	10.00	0.60	3.40	1.80	0.60	0.20	-	-	2.00						
伏見	0.55	0.14	0.14	3.00	14.14	1.00	5.43	1.71	1.00	0.14	-	-	0.50						
西京	2.88	-	-	0.80	5.00	0.20	1.40	0.60	-	-	0.20	-	-						
京都市計	1.29	0.07	0.49	2.26	6.42	0.33	1.95	1.19	0.40	0.28	0.02	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第22週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年5月27日～2019年6月2日

データ入手日:2019年6月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	89	-	1	1	-	4	2	10	17	8	14	7	11	2	3	6	1	2	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		21	-	4	8	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		97	-	2	5	5	13	13	15	11	9	5	5	11	1	2	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		276	2	20	31	22	39	19	29	11	23	20	9	20	1	30	-	-	-	-	-	-	
水痘		14	-	-	1	1	1	2	5	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		84	1	8	48	20	2	1	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		51	-	1	2	4	9	8	5	6	7	4	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		17	-	10	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		12	-	2	2	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.29	-	0.01	0.01	-	0.06	0.03	0.14	0.25	0.12	0.20	0.10	0.16	0.03	0.04	0.09	0.01	0.03	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.07	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.49	-	0.09	0.19	0.19	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.26	-	0.05	0.12	0.12	0.30	0.30	0.35	0.26	0.21	0.12	0.12	0.26	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		6.42	0.05	0.47	0.72	0.51	0.91	0.44	0.67	0.26	0.53	0.47	0.21	0.47	0.02	0.70	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.33	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.12	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1.95	0.02	0.19	1.12	0.47	0.05	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		1.19	-	0.02	0.05	0.09	0.21	0.19	0.12	0.14	0.16	0.09	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.40	-	0.23	0.12	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.28	-	0.05	0.05	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	0.50	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	0.10	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第22週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年6月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	116	40	65	90	48	89
RSウイルス感染症	4	1	6	7	2	3
咽頭結膜熱	6	8	13	9	8	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	10	40	63	53	97
感染性胃腸炎	467	101	241	347	263	276
水痘	15	-	15	12	30	14
手足口病	12	2	8	20	54	84
伝染性紅斑	43	4	28	52	48	51
突発性発しん	29	7	11	12	30	17
ヘルパンギーナ	2	-	3	8	11	12
流行性耳下腺炎	1	-	3	3	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	2	2	2	5
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	760	173	435	625	550	670

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1.68	0.58	0.94	1.30	0.70	1.29
RSウイルス感染症	0.09	0.02	0.14	0.16	0.05	0.07
咽頭結膜熱	0.14	0.19	0.30	0.21	0.19	0.49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	0.23	0.93	1.47	1.23	2.26
感染性胃腸炎	10.86	2.35	5.60	8.07	6.12	6.42
水痘	0.35	-	0.35	0.28	0.70	0.33
手足口病	0.28	0.05	0.19	0.47	1.26	1.95
伝染性紅斑	1.00	0.09	0.65	1.21	1.12	1.19
突発性発しん	0.67	0.16	0.26	0.28	0.70	0.40
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.07	0.19	0.26	0.28
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.07	0.07	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	-	0.20	0.20	0.20	0.50
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	17.04	3.67	9.70	13.90	12.52	15.19

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。